

科目名	科学技術英語Ⅱ Scientific and Technical English II	科目コード	21341
-----	--	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・5年（プログラム2年）
担当教員	竹内 麻希子（電気電子システム工学科）
区分・単位数	必履修・1単位
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：講義15，演習15，実験0，その他0】
教科書	自作プリント
補助教材	
参考書	電気電子理論Ⅰ・Ⅱ、電気回路で使用したテキスト、関連科目の教科書

【A. 科目の概要と関連性】

電気工学や電子工学の分野で仕事をする上において、他の工学分野同様に英語力は必要不可欠である。この授業では、これまでに学生実験において、作成したレポート課題を用いて、英語でのレポート作成を目指す。英文レポートの作成を通して英語表現に対する理解を深める。

○関連する科目：電気電子理論Ⅰ・Ⅱ（2、3年次履修）、電気回路Ⅰ（3年次履修）、電気回路ⅡA、B（前年度履修）、科学技術英語Ⅰ（前年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
① 文法の基礎、英文読解力をつける。	25%	(b3), (d4)
② 科学技術の文章表現を習得する。	25%	(b2), (d4)
③ 科学技術のことがらを、的確な英文で相手に伝えることができる。	35%	(b3), (d4)
④ 学術論文の概要を理解して、日本語で説明できる。	15%	(d4), (g1)

【C. 履修上の注意】

数学および英語の基礎が必要である。また、これまで学んできた電気回路・電子回路を再度勉強しておくこと、および学生実験で作成したレポートが必要である。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（80%）【内訳：前期中間40，前期末40】
- その他の試験（20%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	備考
1	工業技術英語の構文パターン／動詞の基本用法	読解、文法解析
2	助動詞／不定詞の構文パターン	英文作成
3	動詞に ing／動詞による修飾語句の構文パターン	読解、文法解析
4	関係代名詞／接続詞の構文パターン	英文作成
5	数量表現と位置関係の構文パターン	読解、文法解析
6	工業技術英作文の方法	英文作成
7	中間試験	試験時間：50分
8	Operational amplifiers	読解、文法解析
9	Operational amplifiers	読解、文法解析
10	Operational amplifiers	読解、文法解析
11	英語レポート作成、Introduction	英文作成
12	英語レポート作成、Method	英文作成
13	英語レポート作成、Result	英文作成
14	英語レポート作成、Conclusion	英文作成
—	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	